

山口県感染症発生週報 (第30週:2022年7月25日~7月31日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

・結核:2例(萩2)

【4類感染症】

・レジオネラ症:1例(下関)

【5類感染症】

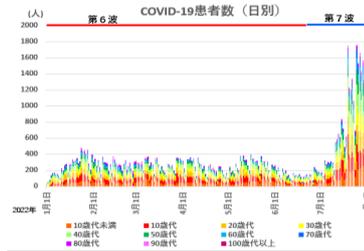
・後天性免疫不全症候群:1例(防府)

・梅毒:1例(宇部)

【新型コロナウイルス等感染症】

・新型コロナウイルス感染症:10,110例(下関2,460、岩国1,050、柳井411、周南1,650、防府750、山口1,587、宇部1,940、長門125、萩137)

※()内は届出を受けた保健所



山口県感染症情報センター作成

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

・RSウイルス感染症:県全体で発生が多い状況です。下関、岩国、山口、宇部で発生が多い状況です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	28週	29週	30週	疾患名	28週	29週	30週
インフルエンザ	0	0	0	ヘルパンギーナ	24	11	37
RSウイルス感染症	44	71	102	流行性耳下腺炎	1	1	2
咽頭結膜熱	12	2	5	急性出血性結膜炎	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	4	6	流行性角結膜炎	2	1	2
感染性胃腸炎	151	105	134	クラミジア肺炎	0	0	0
水痘	4	3	0	細菌性髄膜炎	0	0	0
手足口病	21	30	30	マイコプラズマ肺炎	0	0	0
伝染性紅斑	0	1	2	無菌性髄膜炎	0	0	0
突発性発しん	17	15	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	44	26	0	0	1	18	13	0	0	102
咽頭結膜熱	1	1	0	2	1	0	0	0	0	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	0	1	3	0	0	0	0	6
感染性胃腸炎	23	13	0	53	5	5	27	0	8	134
水痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手足口病	0	13	9	3	1	0	4	0	0	30
伝染性紅斑	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
突発性発しん	3	0	2	5	2	0	8	0	0	20
ヘルパンギーナ	0	7	6	22	0	1	1	0	0	37
流行性耳下腺炎	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 トピックス

・新型コロナウイルス感染症については、8月1日936人、8月2日に1,743人(過去最多)の新規感染が公表されています。(県新型コロナウイルス感染症対策本部公表)

【累計75,560例】

・新型コロナウイルスの新規感染者が急増しており、夏休みやお盆など、さらに人流が活性化する時期を迎えるにあたり、今一度感染予防対策の徹底を呼びかけています。

【お盆期間・帰省中の無料検査】 <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/6/144975.html>

・8月1日に新型コロナウイルス感染症の患者2名について、ゲノム解析の結果、「BA.2.75」(通称:ケンタウロス)の陽性であることが、県内で初めて確認されました。BA.2.75の感染力や重症化リスクについては、現時点、明らかになっていませんが、飛沫感染や接触感染で感染することから、感染対策は、これまでと変わるものではありません。

4 病原体検出情報

- ・新型コロナウイルス(検体採取週 第30、31週)
- ・ヒトポカウイルス(検体採取週 第25週):咽頭ぬぐい液から
- ・パラインフルエンザウイルス1(検体採取週 第27週):咽頭ぬぐい液から
- ・サボウイルスG型(検体採取週 第27週):ふん便から
- ・パレコウイルス3(検体採取週 第28週):上気道から